

化学肥料製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	2	10~11	災害当日、被災者は木材パレットの解体作業中、解体した木材を釘が付いたままの状態ですら置いて作業していた。新たにパレットを解体していた時に、テコを利用して勢いがついてしまい後に仰け反った際、木材を踏み、木材に刺さっている釘を左足かかとで踏んでしまった。	29	521	9	30 ~ 49
2017	2	16~17	排水処理施設の活性炭塔から使用済みの活性炭をフレコンに取り出す作業で、高さ36cmの踏み台に上がりバルブ操作をしている時に、踏み台から右足を踏み外し、右足ふくらはぎ部を踏み台に強打した。	58	419	1	50 ~ 99
2017	2	15~16	就業前に説明を受けていたところ、すでにベルトコンベアが稼働して説明に耳と体と頭がそちらに集中していたため、コンベアが動いている認識が薄れコンベアに左手が接触し、ゴム手袋とコンベアのベルトの摩擦でそのまま手が巻き込まれ、左手の打撲と診断された。	58	121	7	100 ~ 299
2017	3	23~24	製造プラントの通路でプラントの上階から一階へ降りポンプスイッチを操作しようと通路を走行中、通路（アスファルト）の水で濡れた部分で足を滑らせ転倒し、右足指を骨折した（ヘルメット、保護メガネ、安全靴着用）。	47	417	2	30 ~ 49
			ガスボンベを洗浄して出荷する業務中、操作盤から落下した部品が				50

2017	4	11~ 12	下部ドレーン付近に落下したため拾おうとし、ドレーンのレバーに当たって押し上げてしまったため蒸気が噴出して右手甲にかかり、熱傷を負った。	50	713	11	~ 99
2017	4	16~ 17	生産現場にて翌日使用するダンボール板の束（80cm×20cm×20cm）を使用場所に積みあげている時、持っている手のバランスを崩し、そのダンボールを落とさないように上体を捻って手で支えようとした時に右肩を脱臼した。	50	611	19	~ 49
2017	5	14~ 15	ふるい室内を2名で清掃中、ロールクラッシャー下のベルトコンベアは運転中であったが、被災技能職は回転中のままメタルを手で除去しようとし、ベルトコンベア本体とベルトの間に左腕を巻き込まれた。もう1名の技能職が異変に気づき、ベルトコンベアの電源を切ったが、左腕を挟まれていた。	53	224	7	~ 29
2017	5	14~ 15	第5工場2F後段脱水機の3布を調整しようとし、脚立に登ったところ、バランスを崩し右手から落下した。	27	371	1	~ 49
2017	7	10~11	第8工場では300L金属性濾過器台座を斜めに立てかけた状態で、部品表面のウエスふき取りによる洗浄作業を行っていたところ、部品が後ろにずれて倒れてしまい、支えようとした左手が台座の下敷きになり受傷。	52	521	4	~ 99
2017	7	10~11	当社工場内において、肥料配合機で作業中、異物（袋）が混入してしまい、それを除去するにあたって、機械の停止ボタンを押さずに、機械作動のまま取り出そうとして、スクリーンに右手の指が巻き込まれ負傷した。	53	162	7	~ 29
2017	9	11~ 12	肥料用工場でスクリーンコンベアの作業中、コンベアの下に石灰が溜まっていた為、コンベアの下部分を掃除していた際に、左指（人差し指中指）がチェーンに挟まれ左指を切った。	60	224	7	~ 29
			肥料容器梱包用ダンボール箱の製函作業に従事していた。包装機へダンボール箱の供給後、製函機トラブル（停止センサー誤作動）で				50

2017	11	11~ 12	ダンボール箱がレールから脱線落下した為、製函機へ駆け寄った時、床面が濡れていて足が滑りバランスを崩し右前腕部を痛打し打撲を負った。	33	417	2	~ 99
2017	12	9~10	工場において年末の大掃除中に、事務用の椅子にのって棚の上を掃除しようとしたところ、椅子から落下し、右足大腿骨を骨折した。	61	371	1	30 ~ 49
2017	12	7~8	工場で反応釜に所定量の原料を仕込み、溶解のため蒸気にて昇温していた。少し時間が経過し、昇温していることに気付き、蒸気バルブを閉めようとしたが間に合わず、釜口から液が沸騰し吹き出たので、蒸気ボイラー室へ行って元バルブを閉め、工場に戻って反応釜を冷却しようとしたところ、足元が滑り転倒し、両手足と顔面を火傷した。	35	417	2	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html